

第2回 横浜港・川崎港カーボンニュートラルポータル報告検討会 議事概要

会議概要

日時：令和3年3月4日(木) 14:00~15:30
会場：横浜市役所市庁舎 18階会議室(Web会議併用)

議事内容

○事務局から説明

- ・CNP 検討会の設置趣旨
- ・横浜港・川崎港における脱炭素化に向けた取組
- ・横浜港・川崎港 CNP 形成に向けた論点

○脱炭素化に向けた各企業の取組紹介

- ・岩谷産業(株)
- ・千代田化工建設(株)
- ・住友商事(株)

○主なご意見

- ・水素ガスの供給拡大に向けては、付臭に代わる措置等の規制上の整理が必要。また、水素ガス配管の延伸に向けては、「川崎臨海部水素ネットワーク協議会」等におけるこれまでの取組み等と良く連携してほしい。
- ・MCHについては、水素キャリアとして利用する際の税制上の整理等は必要であるが、既存の石油インフラを多少改良することで活用が可能というのは大きな強み。
- ・アンモニアについては、混焼発電に向けた技術開発等の課題はあるが、既存の石炭火力発電設備でアンモニアのまま燃焼が可能であるほか、水素キャリアとしての利用可能性もある。
- ・クリーンエネルギーの利用拡大に向けては、臨海部企業や港湾施設でのCO₂フリー電力の利用を促進するようなる政策誘導があると良い。
- ・メタネーションは水素キャリアの1つとなり得る。既存の港湾施設や船舶等を有効活用できるため、追加コストを発生させずに脱炭素化が可能。
- ・港湾における次世代エネルギー利用の拡大に向けては、コンテナターミナルに加えて、広い範囲における利用拡大等、幅広く検討する必要がある。
- ・今回の検討会で目指すべき将来像を描いた後、どうやって実現に向け取組んでいくことが重要。次年度以降の進め方や他の協議会との連携についても次回教えて欲しい。

以上